

なきごえ



1971

12

大阪市
天王寺動物園協会

故中馬市長と動物園

天王寺動物園が開園50周年を迎えたのは昭和40年の元旦。この年を記念して、元天王寺公園グラウンドの敷地、南北150米、東西100米、面積15,000平方メートルの拡張工事が行われ、そこにはスペインのバルセロナ動物園の設計を取り入れた当園の最も自慢するカモシカ放し飼いの施設が完成し開園50周年記念拡張となった。その式典に際し、故中馬市長は「動物園は子供たちの天国です。私も小さい時分、天王寺動物園に度々出かけました。ライオンやゾウの姿に目を見張るこどもたちの姿が今尚目に浮ぶたのしい所です。私も外国のあちらこちらの動物園を見て参りましたが幼さない時分から動物に親しみ動物愛護の心を養うには動物園が大きな役割を果たす所です。どうか市民の皆さん動物園に親しんで下さいますように」と話された。それ以来暇があれば自から動物園に来られ経営面に多大の力を注がれました。又、昭和42年5月に社団法人天王寺動物園協会が発足に当って、故中馬市長の特別のご配慮で協会の会長に夫人が就任していただくということになりました。

昨年万国博の開催によって、各国から親善使節として珍獣、珍鳥がやって参りました。そしてその寄贈式が動物園で行われ必ず出席されました。常々、動物園はPRが大切だと云われ市長自ら動物園のテレビ放送に度々出演されるという関心ぶりであり、こうして動物園は今日のようにすくすくと発展を見るに至ったのであります。又、世界の珍獣ジャ



イアント・パンダを 関西のこどもたちにぜひとも見せてやりたいという事で、去る9月26日、御病気の療養中にか、わらず日中親善のかけ橋のため天王寺動物園にいただき

いた旨を中国政府に伝えて欲しいという事を訪中の関西財界代表団の佐伯団長に依頼されたのであります。又今日まで、私がお目にかゝる度毎に動物園の事に付きお尋ねになり、こうすべきであるなど微に入り細に入りて、常々ご指示を得、関係者一同を励ましていただいたのであります。私が市葬の当日、佐伯市長秘書から「ジャイアント・パンダが来る場合は、立派な動物舎を作ってやってほしい」ということを市長が言っておられましたよ」と話を聞いた時、私は目頭があつくなる思いでした。このように最後まで常に動物園の事に配慮をいただいたことについて私としてこの上もない喜びを感じている次第であります。故中馬市長の霊がいついつまでも安らかな眠りにつかれますよう職員一同が祈っている次第であります。

天王寺動物園長 和田辰巳

なきごえ12月号もくじ

故中馬市長と動物園	2
飼育の1年をふりかえって(座談会)	3・4・5・6
動物園ニュース	7



“飼育の1年をふりかえって” (座談会)

■出席者

和田園長、中川主幹、松岡主査、樽本、深井、永田中尾、辰野、泰松、山田、浅田、大野、池内、三浦、米田

司会：皆様には何かとお忙しいところ御出席いただきましてありがとうございます。1971年をふりかえって「飼育の一年」というテーマで座談会に移っていききたいと思います。では最初に園長より動物園の一年をふりかえって一言お願いします。

園長：私は今年の動物園をふりかえって見ますと第一に有料入園者数について申し上げたいと存じます。それについては過去の推移が必要なので市営となって、この56年間のデータに基づき、年間160万人以上の入園者があったのは昭和8年、昭和9年、昭和10年、昭和14年、昭和15年、昭和16年、昭和38年、昭和39年、昭和40年、昭和45年、と今年を含め11回です。戦前日本の領土であった朝鮮、台湾を含めて、動物園が、全国に17園しかなかったのですが、現在61園という数に増え、その上、動物園以外にレジャー施設が増加している今日にもかゝらず、今年も有料入場者160万人以上、無料取扱者50万人、ざっと200万人を越える入園者があり、この一年も市民の動物園としてその役割を果たしたものと私は信じております。これも皆様方の蔭の力添えがあったことは申すまでもありません。第2番目の思い出としては、万国博を記念して、ニュージーランド政府より動物親善使節として贈られたキーウイを1年半以上も飼育して来たことは、皆さんの飼育技術の向上を物語るものだと思います。

ロンドンでは2年間、又サンディゴ動物園では1955年～1966年迄の最高生存記録が掲げら

れています。当園では、今尚元気でおりますことは嬉しいことで、日本の動物園飼育史上に大きな足跡を残したものと思います。



第3に私が園長就任以来、野生動物はできるだけ自然に近い状態で飼うべきであるという原則の基に、放し飼いの動物園計画の仕事を皆さんと共に取り組み、その完成を見るに至ったことは誠に喜びとするところであります。飼育する動物の環境が良くなり、今年46種174点(購入価格に見積ると700万円以上)の出産ブームであったことは開園以来のことで大変喜ばしいことだと思います。

第4に7月1日と云えば皆さんも「アアあれか」とすぐ思い出されるチンパンジーの脱出事件です。脱出してから1時間と15分の間、チンパンジー舎の周辺を毛を立てながら徘徊し警察官や猟友会の方々の応援を求め私自身としても、たつてもいてもおられぬ心中でした。永年飼って来た動物ですが人間の安全優先ということから射殺という断を下さざるを得ない事態に至ったのです。しかし、幸いチンパンジー自身が堀に飛び込んでくれたのは、不幸中の幸いでした。脱出中の1時間15分というものは私の一生の思い出となるでしょう。どうか、これを今後の教訓として、施設は点検の上にも点検し、二度と失敗のないよう注意していただきたいと思います。

司会：続いて動物の飼育管理、繁殖、治療及び飼料等について、思い出が山積みされていること

と思います。各々担当の方は自由に活発にお話して頂きたいと思います。

池内：担当のさいについて、昭和45年12月頃まで、再三交尾をしているのを見ていますが、昭和46年2月にも交尾を確認し、その後今日まで交尾していないので、これが最終の交尾だったようです。近頃は乳房の発育もよく、乳頭の突出が見られ、妊娠は確実と思われ、来年の6月頃にはと、期待しております。



中川主幹：そうですね。昭和40年に入園以来、期待をかけて見守っていましたが、飼育者の日常の努力の結晶がやっと実のり、無事に可愛い赤ちゃんを産んでくれるよう祈っております。

司会：お産ブームの中にテナガザルの完全哺乳に成功しましたね。そのことについて大野さんをお願いします。

大野：今まで2度お産をしていますが、第1回目は、母親が子供の世話をしなく、私達が人工哺乳にふみ切りましたが、死亡させてしまい、第2回目のお産は流産しました。3度目の正直というか、今年の5月頃にや、腹のふくらみや、乳頭の黒みもましや、突起して来たのでたえず観察していたが、6月24日お客さんの知らせで出産を確認、完全哺乳に成功したのは、家族構成及び母親の栄養状態がよかったのと、子供自身に体力があって、母親にしっかりしがみついていたのがよかったのだですね。

中尾：出産動物が増えたのは、さい、キリンにもいえると思うのですが、動物舎の施設がよくなったこともあるでしょう。

泰松：それもありますが、やはり飼料の種類や量の改善と向上が重要で、昭和40年頃より、餌の質もよくなり、量も豊富になって来たのが最大の要素で、餌のウエイトが、直接動物につながっているように思います。それと同時に飼育者の心がまえというか、担当者の飼い方に問題があるように思います。

大野：その通りだと思います。動物をながく手塩にかけて成長させ、その労が繁殖に結びついた。そのような話を聞いたりすると、やはり飼育担当者の動物個体の性質や習性をよく熟知し日々ねんごろな愛情をかけつつ、動物との親和性を自から求め、自分自身動物管理上欠陥のある所は、工夫して、悪い条件下にもかかわらず、困難をこくふくして成果をおさめることは、日頃の努力が大事なことです。

永田：たしかにその通りです。今年の鶏鶏類のふ化育雛についてもいえる事で、今まで脚の奇型が多かったが、今年は余り出なかったことはやはり努力と研究の結果だと思います。

泰松：好きこそものの上手なれの諺のごとく、動物が好きなものには勝てないのではないかと。

永田：動物好きなものは、自然と動物に愛着を感じ益々意欲がわき、細心の注意で物ごとに打ち込んで行く。

泰松：動物園の発展向上のためには、このような人がより多く働いているのが喜ばしいことだと思います。

司会：その後のカバの子の成長について変わりありませんか？

山田：カバの子も生後ちょうど2年になりますが、他園のカバの子と比較すると、成長率が悪いように思われます。これは母親が高年（推定23才）の出産が原因しているように思われた

のですが、でも子は少し小さいながらも元気です。

司会：カバの哺乳期間はどの位でしょうか？

園長：カバの哺乳期間ですが、水中にて哺乳するのではっきりした期間は判らないのですが1年位哺乳させばいいでしょう。



山田：現在でもしばしば母親は授乳の姿勢をとるし子は哺乳しに行っています。

園長：母親と一緒にしていると、やはり2年たっても哺乳させるのでしょうか。

山田：このごろは父親とも仲よくじゃれあっています。

大野：親子のコミュニケーションだと思います。

三浦：20余年間も独身で、その後妊娠し、無事に出産したということは珍しいことでしょうかね。カバの寿命は何才位でしょうか？

中川主幹：カバの寿命は40~50年位でしょう。

辰野：この母親は昭和27年頃に入園していますが、今の子供より大きかったように思います。

園長：カバのその後の妊娠の徴候はどうですか？

山田：妊娠はしていないようです。今もたびたび交尾をしております。

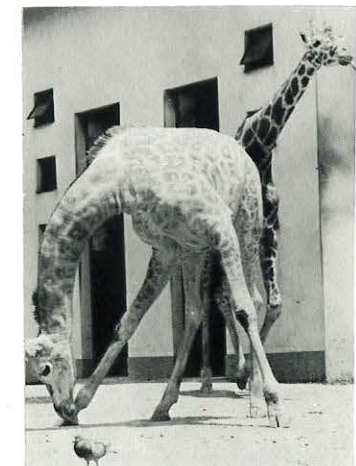
司会：この辺で話題をかえまして動物の治療について松岡先生に一言お願いします。

松岡主幹：先ほどもいわれていたようなことが治療にも大変必要なことなのです。キーパーと親和がとれている動物は状態が安定しているので、治療のときもスムーズに運ぶことができます。比較的治療し易いと云うことです。反

対に不安定な動物では応々治療困難とか、又、しても不完全に終る場合があるので皆さんが話されたことはとても重要なことなのです。ところで、今年をふりかえると色々の動物の治療にたすさわって来ましたが、主なものを挙げるとキリンの流産でした。去年は後産が停帯して発熱し餌も全く食べなくなり薬を飲ませるのに大変苦勞をしました。今年はキリン自体が食欲のあるうちに、大量の薬を飲ませることが出来たので、後産の停帯もなく日に日に元気を取りもどしてくれました。来年は流産の原因を追求しこれに取り組みたいと思っています。

次に孔雀の黒頭病では雛を多数死えさせてしまいました。これは私共の不注意でした。来年は十分早期発見につとめて、切角ふ化して来た雛鳥たちを1羽も死亡させないよう努力したいと思っています。

泰松：キリンの流産の話が出ましたが、その母親は現在の父親の娘で、つまり父と子との交配で、毎回流産しております。現在妊娠しているキリンも、父の第3子で、流産するキリンとは姉妹なので、この第3子目のキリンが、出産するか、流産するかにより、色々の問題が考えられるのではないかと



のではないかと

（注 第2子もめすで哺乳中に下顎の腫瘍で死亡している。）

司会：最後に動物の胃袋を満たす飼料の話題について……

樽本：今年は皆さんも御存知のように、今まで夏の間購入していた青草をやめて、牧干草に切りかえたのと、なお初めての試みとして、鶴見苗圃の用地の一部を借りて、牧草の種子をまき、収穫したということです。苜蓿取時には大変忙がしい目をかけましたが、皆さんの動物によせる温かい愛情により、よりよき成果を納めましたので、来年も尚一そうの御協力により、牧草の収穫に努力したいものと考えております。又、飼料の量としても、今になって、だいたい予算執行のめどがたってきました。これから、除々に猛獣類の肉や、かもしか類のペレットも 給与量をふやしてやりたいたいと思います。

泰松：キリンやシカは牧干草よりハイキューブの方がよく食べます。ハイキューブを前日から水をうって湿めらせておくと、ほどよくやわらかくなる。

樽本：同じ草食獣でもオリックスや、ブラックバック

などでは、ハイキューブを好まない。ましてしめさせた餌は食べないようです。やはり、そういう環境にいたからでしょうか……。ある動物園では、ハイキューブをゾウにも与えているのですが、こちらではまるっきり食べない。ところ変われば品かわる、ではないが飼料係もいろいろ苦労しますよ。

大野：高等な動物達は、機械的、生理的な餌の欲求だけを満たすだけではいけないのではないかと、心理的にも充分餌の種類に配慮する必要がある。特に好む木の実があると助かるのですが、体調のすぐれぬ時など、すぐ間にあうように園内にでもそのような木を植えてほしい。日常の餌ではなく、何等かの変化（心理的）を見たときに与えたいと思います。

司会：飼料係は常にじみな仕事のように見えていますが、非常に大切なもので、動物飼育には、か、せない重要な役割をえています。まだまだ話はつきないと思いますが、時間もきたようですし、来年も頑張ってください。長時間どうも有難うございました。

10・11月動物園日記

10月28日 とらの赤ちゃんが生まれました。赤ちゃんは2頭で、母親も育児上手ですから、お正月にはみなさんにお目見得することでしょう。

31日 “秋の動物園まつり”がはじまりました。

11月1日 チンパンジー放飼場に糞除けの透明板を取りつける工事が行なわれています。

3日 “動物園まつり”の行事としておしゃべり鳥コンクールが行なわれて人気を集めました。

5日 タイワンザル1頭が急死しました。

9日 クロカモシカが1頭生まれました。

アメリカ歯科医ゲルトマイヤー氏が来園し、冬のキーウイの餌、ミミズの養殖について、再び懇切丁寧に教えて下さった。

10日 キョンが急死しました。急性肺炎でした。

11月12日 ライオンの赤ちゃん1頭が生まれました。エゾシカ、ハナシカの角切りを行いました。

13日 カバ舎の寝室を増設するための工事がはじまりました。

14日 パカ2頭が動物交換として入園しました。

15日 ライオンのめすが、2頭の赤ちゃんを産みました。この母親は初産で、赤ちゃんの体格も小さいし、母親が面倒を見ないので、人工哺育することにしました。

17日 マーモセット(きぬぎる)1頭の寄付がありました。

20日 15日に生まれて人工哺育中のライオンの赤ちゃんが下痢がひどく、死亡しました。

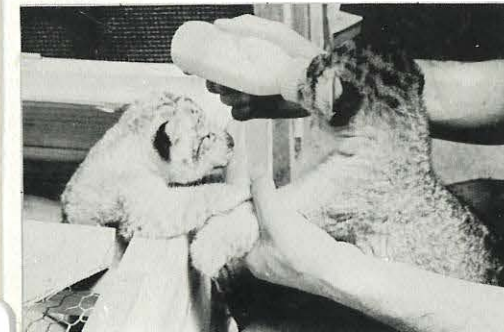
子ぞう1頭のラニーひろ子を南園に移しました。春には姉さん象2頭の仲間入りすることでしょう。

★とらの赤ちゃん



10月28日 今年2度目のとらの赤ちゃんが生まれました。今年の5月には1頭の赤ちゃんを産んでいますが、親が育てず、人工哺育して育てたのです。これが、いまライオンと仲よしになっているとらです。今回は、2頭で、まだ、性別はわかりませんが、親が一しょうけんめい、育て、いますので、お正月にはみなさんにお目見得できるでしょう。

★ライオンの人工哺育



11月15日、 生後2年3カ月のめすライオンが出産しました。赤ちゃんは、やはり体格も小さく、すぐとりあげて人工哺育してやりました。しかし、6日目に1頭が惜しくも死んでしまいました。このライオンの子が生まれる3日前に、この母親ライオンの母ライオン（おばあさんライオン）も1頭産んでいたのです。これは、ベテランのはずですが、やはり、時期的に子供を育てるには寒すぎるのか、赤ちゃんも少しづつ痩せてきたように思われましたので、とりあげて、前のと2頭一しょに人工哺育しています。肉食獣用のミルクを飲んで大きくなることでしょう。

★オオミズナギドリを鹿児島へ空輸

毎年11月中旬から12月上旬にかけて南の島へ渡る途中のオオミズナギドリが、大阪府下で何羽も衰弱して保護されます。これらのミズナギドリはいずれも幼鳥で、動

物園で保護してくれるようにと連日持ち込まれています。今年も11月初めから10羽にもなりました。動物園では休養室にヒーターを入れて、新鮮なアジを差餌（直接口にエサをさし入れて食べさせること）するなど看護していました。たまたま、このニュースが新聞報道されたところ、全日空から「鳥たちの輸送に協力したい」と申出があり、11月24日朝、旅立ちました。鹿児島空港から一たん鴨池動物園に落ちつき、元気になり次第、長崎鼻から放鳥される予定です。



★ネズミ展のお知らせ

来年のえと、ネズミにちなんで、ネズミの種類を集めて見ていただくことと企画しています。期間は1月1日から15日までで、次の11種類を集めて展示する予定です。モルモット、二十日ネズミ、ドブネズミ、イエネズミ、ハタネズミ、ダイコクネズミ、パカ、カピバラ、ヌートリア、アグーチ、ハムスター。

★エトに因む

●世界のネズミのおもちゃ展

とき 1月1日～15日
ところ 動物園 ペンギン舎内
出品 11カ国 約150点
出品者 おもちゃの動物園 吉田平七郎

表紙の写真説明

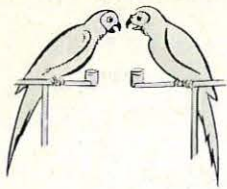
“シロテテナガザル”

生まれて数カ月、このごろやっと母の手から離れて、動き回る姿が見られます。親と同じようにバナナやパンも食べてとてもかわいいと人気があります。

なきごえ 昭和46年12月15日発行（毎月1回15日発行）第7巻第12号（通巻77号）

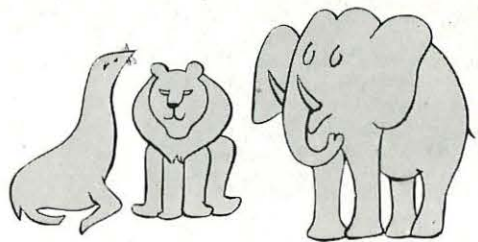
編集 / 大阪市天王寺動物園
発行人 / 大阪市天王寺動物園協会 加藤寿雄
印刷所 / 株式会社 松村善進堂

〒543 大阪市天王寺区玉水町2
電話 大阪 (06)771-0201
振替口座 大阪 37823
定価 50円



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二番地 電話 (078)22-8195・22-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



オイシサも…
品質も…
グーンとアップ!
グリコジャイアンツコーン
●パノラ・ナッツ・チョコレート

30円50円

★とろりとした
良質のチョコレートに
ナッツかかかっている!



グリコ アイスクリーム

江崎 グリコ 株式会社